

3つの拠点

Base of Tarumizu city



3つの拠点による 稼ぐ力の向上・交流人口の拡大

展望デッキから見た夕日

道の駅たるみず 湯っ足り館

「道の駅たるみず 湯っ足り館」は、豊富な農水産物資源の活用と併せて、鹿児島市をはじめとする都市部との体験型観光などによる交流促進施設として年間80万人以上の来館者がある本市の観光・行政情報の中核施設であります。

天然温泉を活用した温泉浴施設、地域の農林水産物を販売する物販施設、加工施設、地域の食材を使ったレストラン施設からなり、旅行者やドライバーにとって憩いの空間となっております。特に海岸に隣接する60mの長い「足湯」からは、静穏な奥錦江湾と桜島の景観が楽しめる、絶好のビューポイントとなっております。

マルシェ（物産館）▶

季節の農産物やお土産品をはじめ、垂水市の豊富な特産品を一挙に揃えるとともに、大隅の商品も数多く取り扱い、大隅のゲートウェイとしての役割も果たしています。



◀情報提供室

情報発信機能や休憩機能に加え、授乳室などの子育て応援機能も備える24時間利用可能な施設です。さらに非常用発電機、防災倉庫、防災トイレの設備を備えることで、防災施設としての役割を果たします。



道の駅たるみずはまびら たるたるぱあく

平成30年11月23日に本市では二つ目の道の駅「たるみずはまびら たるたるぱあく」がオープン。垂水港から国道220号線を南に車で約4分の場所に位置し、錦江湾に面した桜島と開聞岳が一望できる絶景スポットとなっております。地元食材を活用したレストラン、挽きたてコーヒーが味わえるカフェ、親子で楽しめる公園、マリンスポーツを体験できる施設などが併設されています。

森の駅たるみず 猿ヶ城溪谷

日本三百名山の高隈連山。その麓に位置する猿ヶ城溪谷に平成22年4月29日に誕生した施設です。

夏はバーベキュー、冬は鍋などができるコテージがあり、オールシーズンで体験型の観光を楽しめます。

調理・加工室、会議室なども完備され、大自然とのふれあいや交流など猿ヶ城溪谷を満喫するための拠点となっております。



▼大型遊具設置こども広場

▼地元食材のレストラン

▼展望のよいカフェ

▼マリンスポーツ施設

